

キネシオロジー分科会・ヘルスサイエンス分科会合同シンポジウムS9

形態と機能から探る人類進化へのアプローチ－熊倉博雄先生を偲んで－

オーガナイザー：中野良彦・足立和隆

10月10日（13：00～16：00）C会場

キネシオロジー分科会とヘルスサイエンス分科会では、人類学会に長く貢献され、昨年、急逝された故熊倉博雄先生への追悼の意をこめて「形態と機能から探る人類進化へのアプローチ－熊倉博雄先生を偲んで－」というテーマで合同シンポジウムを開催する。

近年、人類学においては様々な手法による研究が導入されているが、形態と機能の関係から進化過程を探ることは、その中心的な方法であることは変わらない。しかし、それらの多くは基礎的な研究の積み重ねであり、まだ残されている課題は多い。熊倉博雄先生もそうした研究を続けられていたが、志半ばで亡くなられた。そこで、その意志を継ぎ、そうした研究の現状と意義をこの機会にあらためて検討することを本シンポの目的とする。

比較形態的研究については筋構築など軟部形態の肉眼的所見から、ロコモーション研究からは霊長類各種の運動学的な比較研究から、それぞれ系統関係と環境要因の関係性について話題を提供していただき、それらの結果を含めた機能形態学的な考察から人類進化の過程を考察する。さらに、議論を深め、こうした研究について今後発展していくべき方向性と新たな可能性を探っていきたい。

講演

S9-1 比較解剖学と機能形態学から人類進化を明らかにすること（中野 良彦）

The perspective of human evolution through comparative anatomy and functional morphology (Nakano, Yoshihiko)

S9-2 肉眼解剖学と人類進化研究（小島 龍平）

Macroscopic anatomy and anthropological sciences (Kojima, Ryuhei)

S9-3 霊長類ロコモーションの筋電図学的研究（平崎 鋭矢）

Electromyographic studies on primate locomotion - focusing on Prof. Hiroo Kumakura's achievements (Hirasaki, Eishi)

S9-4 テナガザルのブラキエーションにおける後肢・体幹の働き（岡 健司）

Hind limbs and trunk function of a brachiating gibbon (Oka, Kenji)

S9-5 比較ブラキエーション学－ぶら下がりから何が見えるか？－（藤野 健）

Comparative kinematic study of primate brachiating activity – Evolutionary implications (Fujino, Ken)